

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第5回伊那北駅周辺再生ワーキンググループ（WG）			
開催日	2024年11月21日(木)			
開催時間	開会	18：00	閉会	20：45
開催場所	市役所 501・502 会議室			
出席者				
協議会・WG メンバー	田畑和輝氏、高橋明星氏、笠井成樹氏、北原俊文氏、須永次郎氏			
事務局・職員	建設部：橋爪、柴田、原			
関係者	—			
欠席者	—			
議事	1、伊那北駅周辺再生 WG 取組みについて			

議事項目	概要	次のステップ
1、伊那北駅周辺再生 WG 取組みについて		
優建事業とのかわりについて	○WG メンバー ・優建ビルの1階と3階では、施設の使われ方、人の集まり方も異なる。ビルのどこに入るか事業者と調整がいるのではないかな。 ○WG メンバー ・WG と事業者が話をして、考えを聞いたり、伝えたりすることは可能かな。	・市はビル内設置を検討しているが、事業の着手はまだ先の見込み。ビルの内容も担保されていない。 ・時期を見て事業者と話をする機会を設定することは可能。
若者交流施設について	○WG メンバー ・若者交流施設をビル中、駅中、広場内、周辺空き店舗など、どこに設置することになっても対応できるように、ソフト面について考え方をまとめる方向が良いのではないかな。 ・最近は要望により駅に学習室や図書コーナーなどが併設されている事例もある。それが目指す施設なのだろうか。 ・企業に声を掛けて、スポンサーとして無料で飲み物を提供できれば、高校生はそれなりに集まる。それが若者の居場所ということだろうか。	・新校にも学習スペースはあり駅にも必要か検討。 ・例えば無料ドリンクで施設を使うハードルを下げるきっかけを用意して、そこからコトをバランスさせる方法はある。 ・欲しい施設と使われる施設は別。要望施設が使われるとは限らない。検討が必要。

若者交流施設の運営について	○WG メンバー ・ 17トリドリでは、高校生の中にプレイヤーがいた。自ら施設運営に関わり、大人がサポートする形も考えられる。 ・ 自分たちの場所と感じてもらえる施設は可能か。 ・ 一橋大学、チノチノなどの取組みも参考になる。	・ 現実的に伊那新校など進学校は忙しい子供が多いと思われる。就職、社会経験を視野に入れる上農、総合技術新校などの生徒に可能性は高まるのではないかな。
駅とまちの発展について	○WG メンバー ・ 個人的に諏訪湖周辺駅、辰野駅、新しい村井駅を見て回った。昭和、平成、令和の駅建設への期待、盛り上がりは今に伝えているが、時を経て商業施設撤退、改装、解体に繋がっている。伊那北駅が目指す姿としては違和感がある。冷静に未来を見据えてサスティナブルな考えを深めていきたい。	・ 他事例、JR 東海コンサルからの流量データなどについて情報共有を行いたい。 ・ 成功例、失敗例の情報収集など知識と学びが必要。
駅、ロータリーについて	○WG メンバー ・ 駅の形は、地上駅、橋上駅、東と西の2開札駅など検討の幅は広い。JR 東海本社からは自由通路について別の発想があった。また、他の駅などを見るとツインロータリーまで必要な交通量かを考えさせられる。 ○WG メンバー ・ 駅のデザインなどはどう考えるか、木造とすることや、内装をリノベするなど、考える余地はあるのか。 ○WG メンバー ・ 17トリドリの伊那北駅広ライブを見た、駅広の1番の目的を車の交通整理にすることが良いのか、改めて考えさせられるシーンだった。	・ JR 東海コンサルの業務委託には住民説明業務が含まれている。WG などがプロに話を聞く機会を設定することが可能。 ・ 駅の形によるが、駅に限らず他の用途など参考に検討する。 ・ 拡張を目指す伊那北駅広のスケール感など、実例と比較して考えを深める。